

記入例

【様式編】

※記入例はあくまで一例を示したものです。
施設の実情にあわせて適宜修正してください。

土砂災害時の避難確保計画

【施設名：〇〇小学校】

令和□年×月〇日 作成

様式編 目 次

市に提出

1	目的	1	様式 1
2	防災体制に関する事項	2	様式 2
3	避難誘導に関する事項	5	様式 3
4	避難の確保を図るための施設の整備に関する事項	7	様式 4
5	防災教育及び訓練の実施に関する事項	8	様式 5
	避難先までの避難経路図	9	別添 1
	施設建物内の避難経路図	10	別添 2
	施設内掲示用 避難確保計画イメージ	11	別 紙

個人情報等を含むため適切に管理 ※市への提出は不要であるが作成が必要なもの。

6	防災教育及び訓練の年間計画	12	様式 6
7	施設利用者緊急連絡先一覧表	13	様式 7
8	緊急連絡網（従業員用等）	14	様式 8
9	外部機関等への緊急連絡先一覧表	14	様式 9
10	対応別避難誘導方法一覧表	15	様式 10
11	防災体制一覧表	16	様式 11

1 [目的]

土砂災害に関する避難確保計画（以下、「避難確保計画」という）は、土砂災害防止法第八条の二に基づき、〇〇小学校近隣で土砂災害の発生または発生のおそれがある場合に対応すべき必要な事項を定め、土砂災害から円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

本避難確保計画は、〇〇小学校に勤務する職員（以下「施設職員」という）および施設の利用者または出入りする全ての者（以下「利用者等」という）に適用する。

【施設の状況】

平日：利用者 ○名、施設職員 ○名（夜間：利用者 ○名、施設職員 ○名）
休日：利用者 ○名、施設職員 ○名

【施設の住所】

盛岡市〇〇町〇〇番〇〇号

【施設の立地条件】（盛岡市防災マップで確認。該当する区分に○を記入。）

<input checked="" type="checkbox"/>	土砂災害警戒区域
<input type="checkbox"/>	土砂災害特別警戒区域
<input type="checkbox"/>	上記以外

土砂災害警戒区域または土砂災害特別警戒区域の場合、土砂災害危険箇所の種類

<input checked="" type="checkbox"/>	土石流
<input type="checkbox"/>	急傾斜
<input type="checkbox"/>	地すべり

※盛岡市ホームページの「盛岡市防災マップ」や「もりおか便利マップ」等を活用し、施設の立地条件について正しく確認しましょう。

2 [防災体制に関する事項]

(1) [各班の任務と組織]

1) 各班の任務

① 指揮班

施設管理者を支援し、各班へ必要な事項を指示する。

② 情報収集班

テレビ、ラジオ、インターネットなどを活用した積極的な情報収集、がけ崩れ等の前兆現象の把握や被害情報などを収集し、指揮班、避難誘導班に必要な事項を報告・伝達する。

③ 避難誘導班

高齢者等避難の情報が発令された場合、がけ崩れ等の前兆現象などを発見した場合に、利用者等を安全な場所へ避難誘導する。

※体制確立の判断時期や活動内容、役割分担（対応要員）は施設で決めましょう。
 ※災害が起きる前に、活動内容や役割分担（対応要員）を施設内で確認・共有しましょう。

2) 組織図

※様式は問いませんので、別に作成しているものがあればそれを利用して構いません。計画と一緒に保存しましょう。

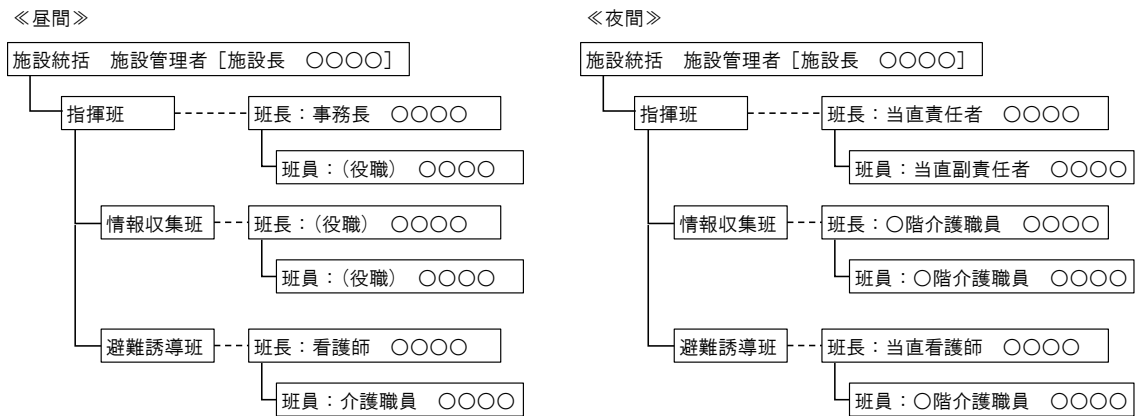


図 1 職員の役割分担

3) 参集基準

表 1 参集基準

	判断基準	主な業務内容	対応者
参集準備	台風接近が予想される場合 大雨が予想される場合	気象情報等の情報収集 事前休業等の判断	情報収集班 施設管理者
応援当番職員参集	大雨警報（土砂災害）が発表された場合	気象情報等の情報収集 避難準備	情報収集班 避難誘導班
全職員参集	盛岡市に土砂災害警戒情報が発表された場合 盛岡市○○地区に高齢者等避難が発令された場合	気象情報等の情報収集 関係機関への連絡 避難誘導	情報収集班 避難誘導班

※市からの避難情報（高齢者等避難、避難指示）は町名単位（内丸、上堂一丁目等）で発令しますので、○○地区には施設が所在する町名を記入してください。

※様式は問いませんので、別に作成しているものがあればそれを利用して構いません。
計画と一緒に保存しましょう。

4) 連絡網

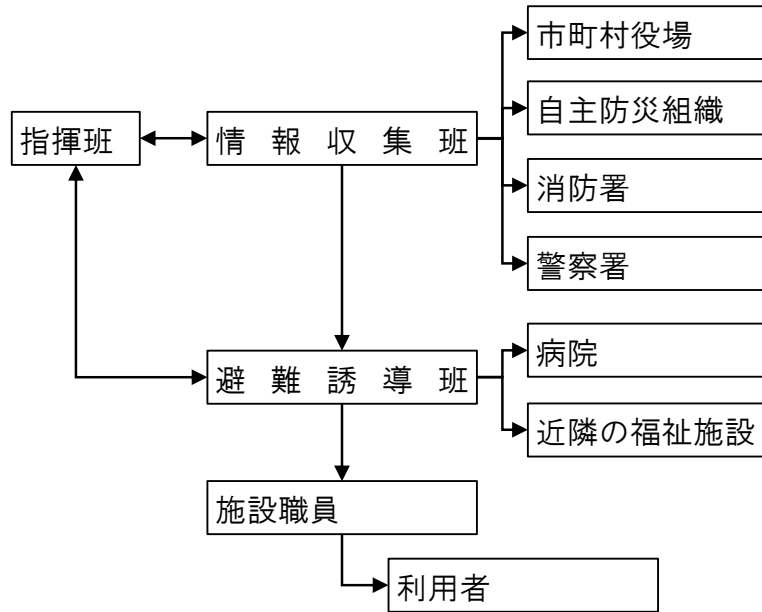


図2 緊急時連絡網

5) 関係機関緊急連絡先

表2 関係機関緊急時連絡先

機関名		電話番号	FAX 番号	メールアドレス
防災行政機関	盛岡市役所 ○○（福祉担当）課			
	盛岡市役所 危機管理防災課	019-603-8031	019-622-6211	kikikanri@city.iwate.morioka.jp
	○○消防署・消防分署			
	○○警察署・交番・駐在所			
協力機関	○○地区 地区長			
	○○防災会 防災会長			
	○○病院			
	※様式は問いませんので、別に作成しているものがあればそれを利用して構いません。 計画と一緒に保存しましょう。			
ライフライン	電気 東北電力○○営業所			
	ガス ○○会社			
	水道 盛岡市上下水道局			
	通信 NTT 東日本○○営業所			

(2) [事前対策]

台風の接近などあらかじめ土砂災害の危険性が高まることが予想される場合は、**臨時休校や生徒の早期帰宅**などを検討するとともに、各施設職員の役割分担を再確認する。

※事前対策は、施設の実情（業種）にあわせて適宜修正してください。
例：施設の臨時休業、利用者の早期帰宅など

(3) [情報収集及び伝達]

情報収集班は、気象情報、気象警報、避難情報等について、次表に示す方法により、情報を収集し、指揮班、避難誘導班および利用者等へ必要事項を報告・連絡する。

また、がけ崩れ等の前兆現象や被災時の被害状況などの情報を入手した場合は速やかに、市役所・消防署等へ通報する。

表3 主な情報及び収集方法

収集する情報	収集方法	施設職員共有方法
気象情報	テレビ、ラジオ インターネット ・気象庁 HP (https://www.jma.go.jp)	口頭、電話、メール、館内放送
土砂災害警戒情報	いわてモバイルメール ・「土砂災害警戒情報（盛岡地域）」 インターネット ・岩手県土砂災害警戒情報システム (http://sabo.pref.iwate.jp/dosha/)	口頭、電話、メール、館内放送
避難情報 ・高齢者等避難 ・避難指示 ・緊急安全確保	テレビ、ラジオ インターネット ・いわて防災情報ポータル (https://iwate.secure.force.com/) ・盛岡市ホームページ (https://www.city.morioka.iwate.jp) ・盛岡市公式 SNS (X、Facebook、LINE) 盛岡市の避難情報に係る緊急速報メール	口頭、電話、メール、館内放送

玉山地域は「防災行政無線」も情報の収集方法として活用できます。

※いわてモバイルメールは登録が必要です。災害が起きる前に登録しておきましょう。
<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/jouhouka/mobilemail/top.html>
 ※情報収集に必要な各種ホームページはブックマークに登録するなど、いつでも確認できるようにしましょう。

表4 情報伝達の内容・連絡先等

報告対象情報	担当者	伝達手段	報告先
前兆現象	情報収集班	電話、メール	盛岡市 危機管理防災課（防災担当） 消防等
被害情報	情報収集班	電話、メール	盛岡市 危機管理防災課（防災担当） 消防等
避難準備等について	避難誘導班	館内放送 口頭	利用者、施設関係者
		電話、メール	盛岡市 ○○課○○係（施設所管課） 消防等
避難開始等について	避難誘導班	館内放送 口頭	利用者、施設関係者
		電話、メール	盛岡市市役所（施設所管課） 消防等

※避難先は市の指定する避難所等だけとは限りません。土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域以外の安全な場所に避難しましょう。(例えば、安全な場所に関連施設がある場合は、そちらに避難することも可能です。事前に、避難時の行動について施設関係者で確認しておきましょう。)

様式 3

3 [避難誘導に関する事項]

1) 避難誘導等

〇〇〇へ避難誘導する。

但し、〇〇〇まで立ち退き避難が困難な場合は、近隣の待避場所△△に待避する。屋外への立ち退き避難が危険な場合は、施設内で山側から反対の位置にある施設の◇◇室へ避難誘導する。

※市の指定緊急避難場所に避難する場合は、土砂災害に対応しているかどうか、市ホームページ等で確認しましょう。

※既に災害が発生しているなど、外に出ることが著しく危険な場合は、施設内で山側から反対の位置にあり、施設の2階など高い場所にある部屋に避難してください。

2) 避難基準

① 市役所、気象庁からの情報に基づく判断

次の気象情報の発表や避難情報の発令があった場合に、避難等を開始する。

避難開始基準：盛岡市に土砂災害警戒情報が発表

盛岡市〇〇地区に高齢者等避難の発令

② 自主避難の判断

次に示すような土砂災害の前兆現象を確認した際は、市役所や気象庁の情報を待つことなく避難を開始する。前兆現象については、安全確保のため、施設内から確認できる範囲で把握し、市に報告する。

＜土砂災害の前兆現象＞

- ・ がけの表面に水が流れ出す。
- ・ がけから水が噴き出す。
- ・ 小石がパラパラと落ちる。
- ・ がけからの水が濁りだす。
- ・ がけの樹木が傾く。
- ・ 樹木の根の切れる音がする。
- ・ 樹木の倒れる音がする。
- ・ がけに割れ目が見える。
- ・ 斜面がふくらみだす。
- ・ 地鳴りがする。

3) 避難方法

① 〇〇〇へ避難の場合

・ 〇〇〇までの移動は、車によるものとする。

※車による移動の場合…車両〇台（利用者〇名、施設職員〇名）

・ 施設からの避難完了確認のため、未避難者の有無を確認する。

② 施設内避難の場合

・ 屋外への立ち退き避難が危険な場合の施設の◇◇室への避難は、徒歩、車いすによるものとする。

・ 施設内の各部屋より避難完了確認のため、未避難者の有無を確認する。

※避難時の移動手段は施設の実情にあわせて、適宜修正してください。

※各避難先の経路図は、別途作成の上、計画と一緒に市に提出の上、一緒に保管しましょう。

4) 避難経路

① ○○○へ避難の場合

- ・ ○○○までの移動は、市道□□線（○○郵便局の前を通る道路）経由とする。
（経路図は、別添図のとおり）

② 施設内避難の場合

- ・ 施設内の避難経路は施設内のエレベータ及び中央階段を使用することとする。
※停電時にはエレベータ停止することに留意する。
（経路図は、別添図のとおり）

5) 施設周辺や避難経路の点検

①施設周辺の点検

- ・ 施設敷地内の避難経路上に、避難に支障のある草木や支障物が無いか、定期的に点検を実施する。
- ・ 避難に支障のある草木は、適宜草刈りや伐採を行う。また、支障物は速やかに移動する。

②避難経路の点検

- ・ ○○○までの避難経路を確認するとともに、大雨時に冠水して移動が困難になる箇所（洪水浸水想定区域、アンダーパス、地下道）等をあらかじめ把握し、施設職員に情報を共有する。

6) 避難の実施

- ・ 避難にあたっては、避難開始を口頭や館内放送等で「これより（どこへ）、（どうやって）避難を開始します」と、施設職員、利用者等に周知する。

4 [避難の確保を図るための施設の整備に関する事項]

- 1) 停電した時のため、自家発電装置（発電機）を導入し、発電機に必要な燃料などを備蓄し、維持管理に努める。
- 2) 情報収集及び伝達、避難誘導の際に使用する施設及び資器材として、表5に示すものを備蓄し、維持管理に努める。

表5 避難確保資器材等一覧

備蓄品	
情報収集・伝達	■テレビ3台 ■ラジオ5器 ■タブレット端末2台 ■ファックス2台 ■携帯電話5台 ■携帯電話用バッテリー3個 ■乾電池20個 <input type="checkbox"/> その他（ ）
避難誘導	■従業員名簿 ■利用者名簿 ■案内旗1枚 ■携帯電話5台 ■携帯電話用バッテリー3台 ■携帯用拡声器1台 ■懐中電灯10台 ■乾電池40個 ■ライフジャケット10着 ■蛍光塗料1個 ■避難車3台 <input type="checkbox"/> その他（ ）
施設内避難に係る機材等	■水3日分 ■食料3日分 ■寝具60人分 ■防寒具60人分 <input type="checkbox"/> その他（ ）
施設利用者に係る機材等	■おむつ600枚 ■おしりふき600枚 ■おやつ180個 ■おんぶひも10個 ■常備薬 <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の機材等	■ウェットティッシュ600枚 ■ゴミ袋60枚 ■タオル60枚 <input type="checkbox"/> その他（ ）

※施設の実情に合わせて、確保すべき資器材は適宜加除してください。

5 [防災教育及び訓練の実施に関する事項]

1) 防災教育

施設管理者は、土砂災害の危険性や前兆現象等、警戒避難体制に関する事項について、施設職員に対して研修を行い、情報伝達や自主避難の重要性を理解するよう努める。研修は、訓練と合わせて実施を計画することを基本とする。

その主な内容は以下のとおり。

- ① 土砂災害の前兆現象について
- ② 情報収集及び伝達体制について
- ③ 避難判断・誘導について
- ④ 本避難確保計画の周知について

※施設の実情に合わせて、確保すべき資器材は適宜加除してください。

2) 訓練

避難訓練は研修と一連で実施することを基本とする。

また、全職員を対象に、机上訓練を含め土砂災害に対する避難確保計画の内容を把握するため行う。

【訓練内容】

- ① 情報収集及び伝達訓練
- ② 避難誘導訓練（立ち退き避難、施設内避難）
- ③ 施設関係者以外の関係者が参加する訓練（保護者への引き渡し訓練、家族へのメール等による情報伝達訓練の確認訓練、地域住民や消防団等と連携した避難訓練など）

3) 訓練の実施時期

訓練は、出水期前に行うとともに、下記も含め年間概ね2回行う。

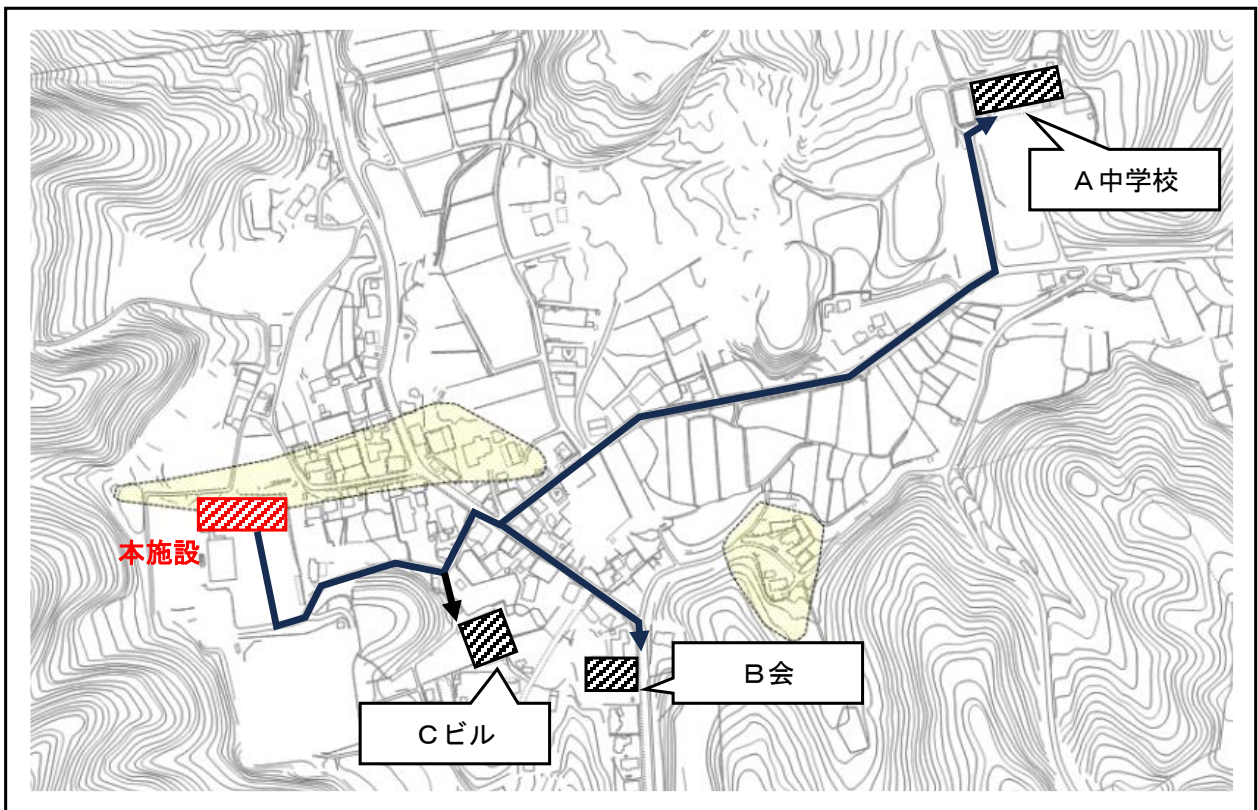
- ① 新規採用職員の研修及び訓練を実施する。新規採用職員の訓練は全職員を対象とした訓練と同時に実施することを基本とし、年度途中で新規採用者がある場合は、別途研修を計画し、机上訓練等を実施する。
- ② 全職員を対象とした情報収集・伝達及び避難誘導訓練を出水期前（6月まで）に実施する。

【避難先までの避難経路図】

土砂災害発生時の避難先、避難経路は以下のとおりとする。

	立退き避難					
	避難先 1	避難に要する時間	避難先 2	避難に要する時間	避難先 3	避難に要する時間
土砂災害	A 中学校	40 分	B 会（系列施設）	25 分	C ビル	10 分

避難経路図



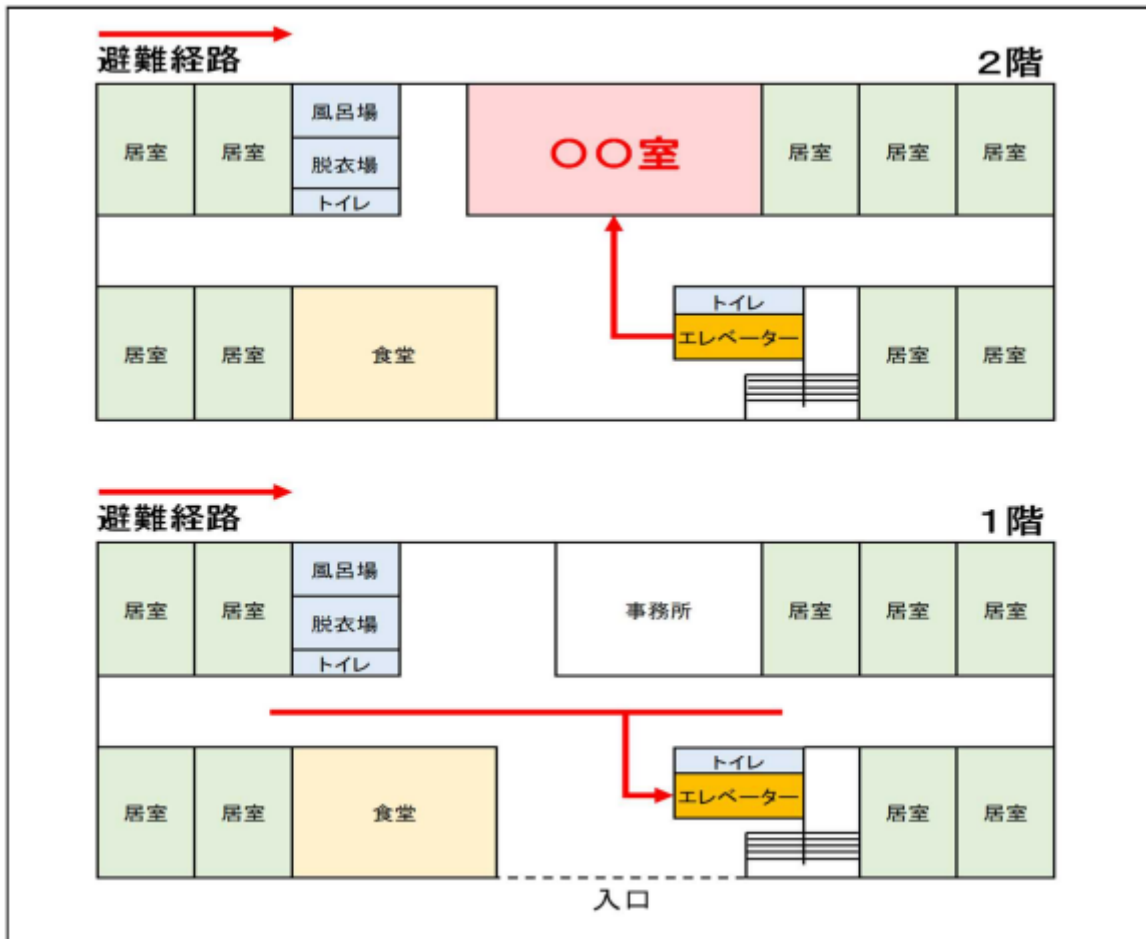
避難先は避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

【施設建物内の避難経路図】

土砂災害発生時の施設建物内の避難経路は以下のとおりとする。

	屋内安全確保	避難に要する時間
土砂災害	本施設 2階〇〇室	5分

避難経路図

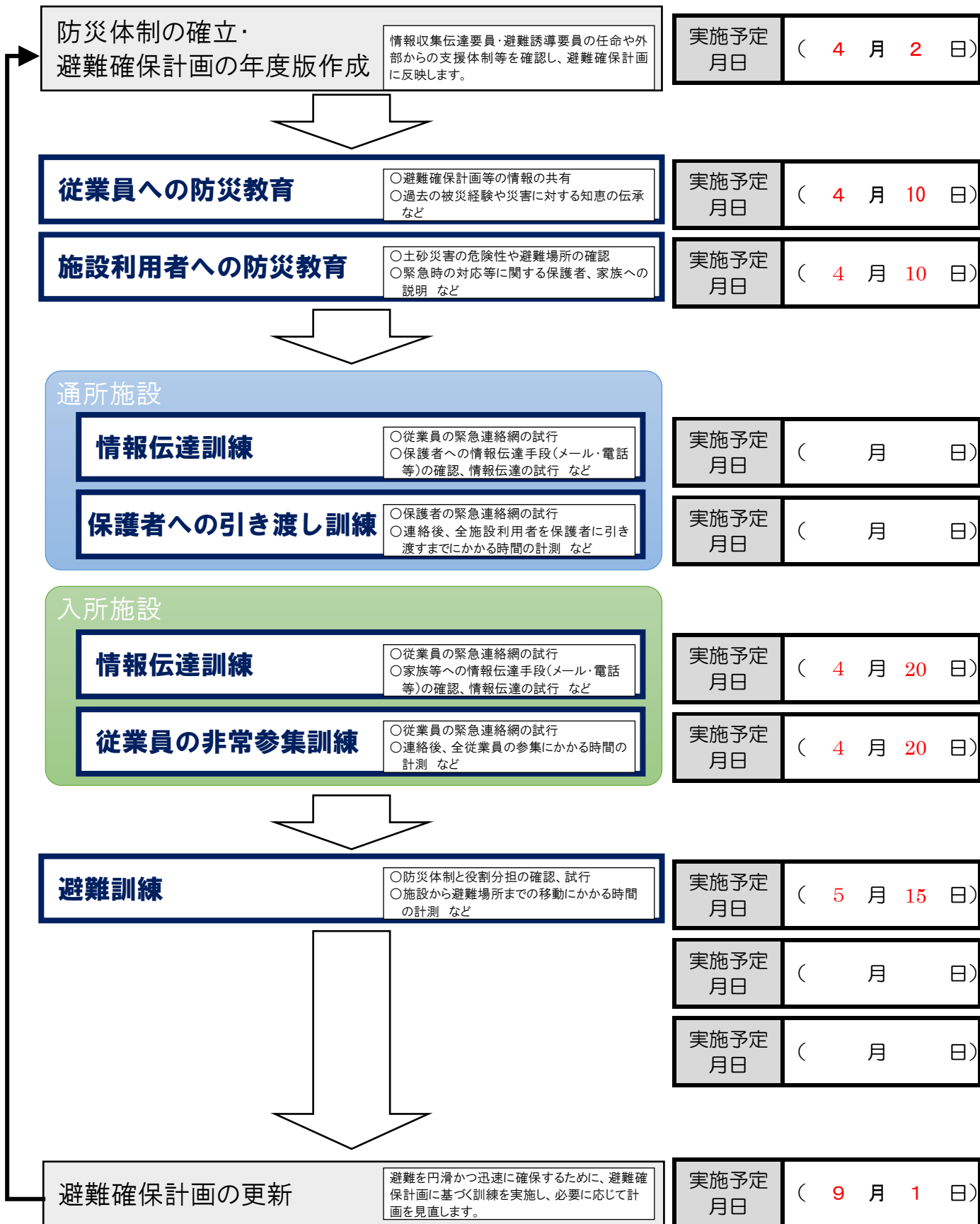


避難先は避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

【施設内掲示用 避難確保計画イメージ】



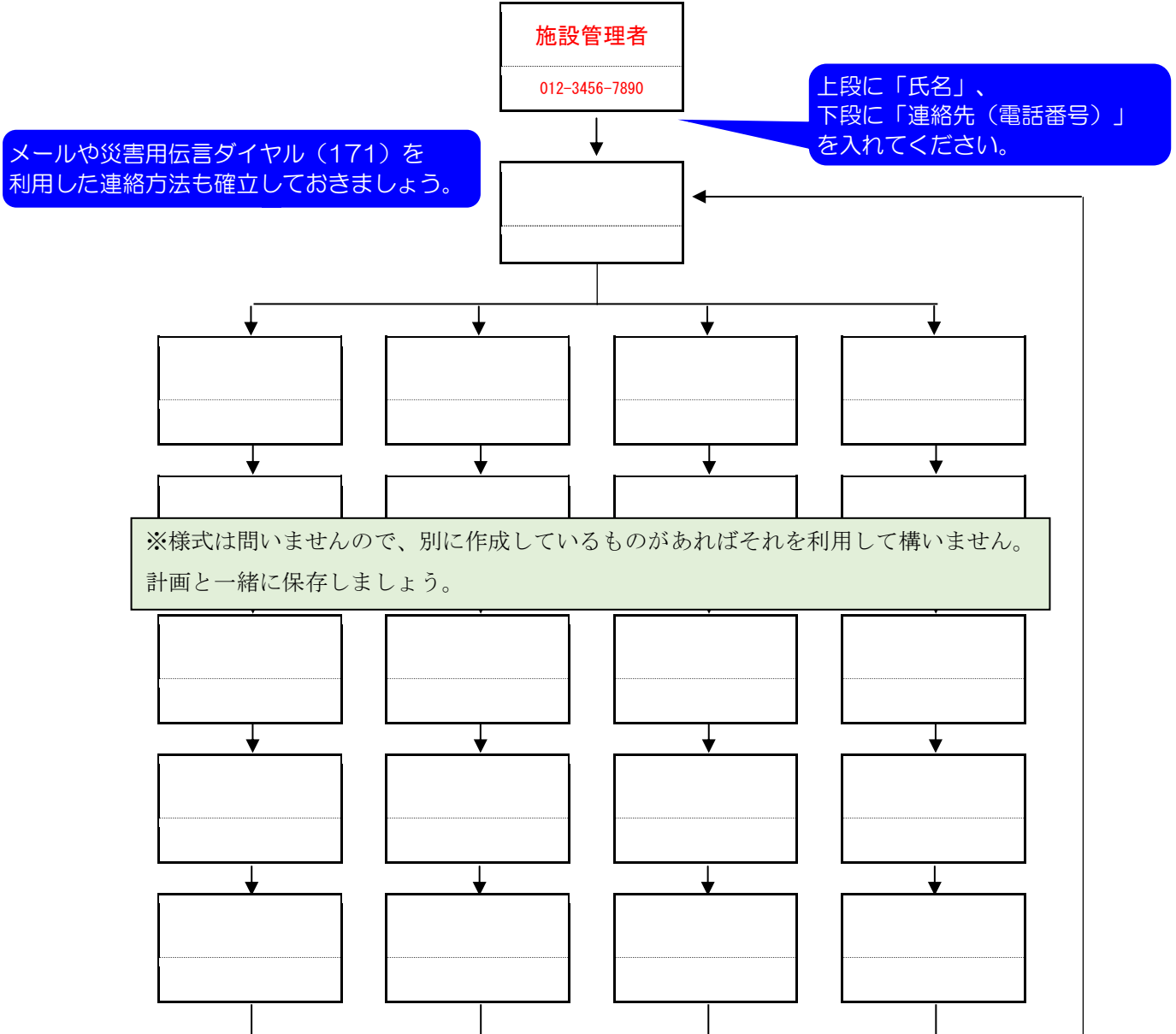
6 防災教育及び訓練の年間計画



7 施設利用者緊急連絡先一覧表

施設利用者			緊急連絡先				その他 (緊急搬送先等)
氏名	年齢	住所	氏名	続柄	電話番号	住所	
			※様式は問いませんので、別に作成しているものがあればそれを利用して構いません。 計画と一緒に保存しましょう。				

8 緊急連絡網（従業員用）



9 外部機関等への緊急連絡先一覧表

連絡先	担当部署	電話番号	備考
市（防災担当）	危機管理防災課	019-603-8031	
市（福祉担当）			
〇〇消防署			
〇〇警察署			
〇〇交番			
〇〇病院			かかりつけ医

10 対応別避難誘導方法一覧表

対応内容	氏名	避難先	移動手段	担当者	備考
<p>※様式は問いませんので、別に作成しているものがあればそれを利用して構いません。 計画と一緒に保存しましょう。</p>					

11 防災体制一覧表

管理権限者 () (代行者)

情報収集 伝達要員	担当者	役割
	班長 () 班員 () 名	<input type="checkbox"/> 状況の把握、情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡

避難誘導 要員	担当者	役割
	班長 () 班員 () 名	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認